

## 東部教育事務所社教便り『社窓』



NO. 17

(平成23年12月)

### 「親子で本を楽しむ日」

安芸市矢ノ丸1-4-36 東部教育事務所

TEL: 0887-34-3591 (幾井)

FAX: 0887-34-3592 (大井)

E-mail: 310304@ken.pref.kochi.lg.jp

県教育委員会では、本年度も公立図書館をもたない県下17市町村（合併前の町村を含む）に子どもの読書活動支援員を配置しています。読書活動支援員は、公民館等にある図書室の充実や学校の司書教諭と連携した読み聞かせ等の企画などを通して、子どもたちの読書環境の整備を図るための活動を行っています。昨年度は「親子で本を楽しむ日」を県内5ブロックで行いました。また、1月には「高知県読書フォーラム」を高知市春野ピアステージで開催しました。これらは読書活動支援員が連携しながら企画・運営したものです。

本年度は、支援員配置市町村ごとに「親子で本を楽しむ日」を開催しています。安田町と香美市物部地区の様子をお知らせします。

#### 【安田町会場 11月20日 安田町文化センター】

安田町文化祭・健康ふれあい祭りと同時開催ということもあり、多くの親子連れでにぎわいました。

えほんの店コッコ・サンのおはなし会では大型絵本や音楽を合わせたの読み聞かせに子どもたちは大喜びでした。絵本の販売コーナーでは、「どんな本を選んだらいいですか？」と質問しながら絵本を選ぶ親御さんの姿が見られました。

他にも高知大学奇術部のマジックショーやしおりづくり、バルーンアートのコーナーなども設けられ、楽しい一日となりました。



#### 【香美市物部地区会場 12月8日 大栃小学校】

あいにくの冷たい雨となり、当初予定されていた大栃保育園の参加は残念ながら中止されましたが、保護者や地域、ボランティアの方が児童とともに楽しい時間を過ごしました。

体育館での全体会では、高知県立文学館のおはなしキャラバンとして、土佐民話の会主宰の市原麟一郎さんが、地元物部の「不入（いらす）山」の名前の由来などの土佐の民話を紙芝居や語りで楽しく聞かせてくれました。

前半は、4カ所に分かれての読み聞かせタイムです。香美市で長い間本の読み聞かせをしている楠目ふみさんのストーリーテリング、高知市こども劇場おはなし届け隊によるブラックパネルシアター、香美市で自作の紙芝居を作り、語っている岡本篤志さんの紙芝居、物部読み聞かせグループによる読み聞かせが行われました。子どもたちは思い思いの場所に分かれて、食い入るよ

うに話を聞いていました。

後半は物づくりタイムです。万華鏡やリース、押し花、コースターをボランティアの方から指導を受けながら作りました。大人も子どももそれぞれの出来映えに満足の様子でした。



「親子で本に親しむ日」は、今後、東部管内では馬路村、北川村、奈半利町で1月以降順次開催が予定されています。

県教育委員会では、来年度予算でも学校教育と社会教育両面から連携しながら、読書環境を整え、子どもたちの心を耕そうとしています。そのためには、本の読み聞かせや図書館の整備など多くの保護者や地域の方々のご協力が欠かせません。ご協力をよろしくお願いいたします。

(参考)「平成24年度当初予算見積概要 主要事業一覧」より読書関係を抜粋

#### 【子どもの読書活動推進総合事業】

子どもの読書環境の地域間格差の解消、読書時間の増加と質の向上への取組

- 読書ボランティア養成講座の開催（県内5ブロック・全県で計11回）
- 読書環境の厳しい地域に「子どもの読書活動支援員」を配置（14名）
- 読書楽力検定、子ども司書養成講座、ブックスタート応援事業等による読書活動の啓発・推進

#### 【学校図書館活動推進事業】

- 学校図書館教育推進教諭を加配した「学校図書館活動推進校」（小学校12校、中学校8校）の研究成  
果の県内普及
- 学校図書館担当者や学校図書館支援員のスキルアップを図る学校図書館活動パワーアップ講座の開設
- 「きっとあるキミの心にひびく本（通称リストブック）」の配布と活用
- 学校図書館支援員の配置や設備の整備を行う市町村（学校組合）に対し、財政支援を実施

（詳細は高知県教育委員会ホームページをご覧ください。）